

臨床心理学専攻(修士課程)		1年			2年		
		前期	後期	特別学期	前期	後期	特別学期
DP1: 知識・理解	1-1	福祉分野に関する理論と支援の展開 教育分野に関する理論と支援の展開 保健医療分野に関する理論と支援の展開	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践 産業・労働分野に関する理論と支援の展開 司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開		心の健康教育に関する理論と実践		
	1-2	保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野等における心理的援助に関する様々な理論と専門的知識を習得している。	臨床心理学研究法特論	課題研究 I	課題研究 II		
	1-3	臨床心理学関連領域の専門的知識および基礎的な医学知識を有している。	神経心理学特論 社会心理学特論	課題研究 I 臨床心理基礎実習 臨床心理学特論 I	学校臨床心理学特論 課題研究 II 臨床心理学特論 II		
DP2: 技能・表現	2-1	種々の心理的アセスメントの技能を習得し、心理に関する援助に応用することができる。	心理実践実習(学内) I 心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定特論 課題研究 I	臨床心理実習 I (心理実践実習(学内) II A) 投教法特論	臨床心理実習 II 心理実践実習(学内) II B	
	2-2	心理状態の観察・分析等の内容について、適切に記録ができ、関係者に説明することができる。	教育心理学特論	発達心理学特論 課題研究 I	課題研究 II	課題研究 II	
	2-3	臨床的視点からの研究課題を設定し、適切な研究方法の選択および研究計画を立案し、研究論文としてまとめることができる。	心理統計法特論	課題研究 I			
DP3: 思考・判断	3-1	心理に関する支援を要する人に対して、アセスメント結果を分析し、適切な援助方法を選択・調整することができる。	心理支援に関する理論と実践 心理実践実習(学内) I 心理実践実習指導(学内) I		臨床心理実習 I (心理実践実習(学内) II A)	心理実践実習(学内) II B 臨床心理実習 II	
	3-2	守秘義務等の倫理を遵守すること、また、支援を行う関係者の中で、必要な情報共有を行うことについて、適切に判断することができる。	心理実践実習(学内) I 心理実践実習指導(学内) I		臨床心理実習 I (心理実践実習(学内) II A)	臨床心理実習 II 心理実践実習(学内) II B	
	3-3	自ら問題を発見し、問題解決に向けて、報告・連絡・相談を適切に行いながら、提案・発信することができる。	心理実践実習(学内) I 心理実践実習指導(学内) I		臨床心理実習 I (心理実践実習(学内) II A)	臨床心理実習 II 心理実践実習(学内) II B	
DP4: 態度・志向性	4-1	援助者として支援を必要とする人とラポールを形成し、適切な関係を構築することができる。	臨床心理面接特論 心理実践実習(学内) I 心理実践実習(学外) I 心理実践実習指導(学外) I		臨床心理実習 I (心理実践実習(学内) II A)	心理実践実習(学内) II B 臨床心理実習 II 心理実践実習(学外) II 心理実践実習指導(学外) II	
	4-2	多職種連携・地域連携について、実習を通して積極的に学び、心理の支援を行う人としての役割を理解することができる。	心理実践実習(学内) I 心理実践実習(学外) I 心理実践実習指導(学外) I		臨床心理実習 I (心理実践実習(学内) II A)	臨床心理実習 II 心理実践実習(学内) II B 心理実践実習(学外) II 心理実践実習指導(学外) II	
	4-3	自らの実践について責任をもち、スーパービジョンを受けるとともに、学内・学外実習を通して自己研鑽に努める。	心理実践実習(学内) I 心理実践実習(学外) I 心理実践実習指導(学外) I		臨床心理実習 I (心理実践実習(学内) II A)	臨床心理実習 II 心理実践実習(学内) II B 心理実践実習(学外) II 心理実践実習指導(学外) II	

修了必修科目
 修了選択科目